

優れた会社とは？

“ホワイト企業”

認定への道

選ばれる会社になるには？

本資料は、

近年大きく注目され、誰もが憧れる『ホワイト企業』について解説します。

この資料を読む際は、

- ・ 一般的なホワイト企業とは
- ・ 求職者にニーズのある施策とは
- ・ “ホワイト企業” に集まる人材とは

上記のポイントについてご注目ください。

今後も採用に関するお役立ち資料が続々登場予定ですので、ぜひご覧くださいませ！

1. 一般的な『ホワイト企業』とは	5
2. “ホワイト企業” 認定のために	8
3. “ホワイト企業” 事例の紹介	11
4. “ホワイト企業” 認定への道 まとめ	16
5. スカウトサービスのご紹介	18
6. お問い合わせ	21

一般的な『ホワイト企業』とは

1. 一般的な『ホワイト企業』とは



“ホワイト企業”と呼ばれるには理由は何でしょうか。
まずは“ホワイト企業”とされる理由や要素をご紹介します。

特徴 1. 【低い離職率】

一般的に新卒の3年以内離職は3割とされますが、ホワイト企業はそれを下回ります。
ホワイト企業は、離職率が低い特徴があり、その特徴は特に3年目までの社員の傾向に顕著に表れます。

特徴 2. 【残業時間が少ない・有給休暇取得率が高い】

2019年から施行された働き方改革関連法では、従業員の労働時間や有給休暇の取得について新たに制定されました。ホワイト企業には、こうした社会情勢にもすぐに対応できる余裕があります。よって、残業時間が少なく、有給取得率も高いという特徴が生じます。

特徴 3. 【給与が高く、福利厚生が充実している】

福利厚生は給与と違い義務付けられているものではありませんが、比較した際に大きな差が出ます。だからこそ求職者からすればホワイト企業を探す上で重視される要素の一つなのです。
ホワイト企業は、給与が高く、福利厚生が充実しているという特徴があります。

特徴 4. 【成長環境が整っている】

給与などの待遇面以外に、自らが成長できる環境かどうかを重要視する傾向があります。
生きる上で自らが成長できるか・どんな経験ができるかを重要視するようになったのです。



特徴 5. 【財務指標が盤石】

いくら成長のできる環境が整っていても、会社が倒産してしまったら元も子もありません。財務指標が不安定であれば、将来に不安を感じる従業員の離職にも繋がりがねません。また、給与や賞与にも関係するため、会社の業績は非常に大切な要素の一つです。

特徴 6. 【納得できる評価体制】

自分が一生懸命取り組んできた仕事を評価してくれる体制があれば、モチベーションを高くキープし続けることも可能になります。そのためにも社員一人ひとりのがんばりをしっかり認める、明確な評価体制を意識することが大事です。

特徴 7. 【社員教育に注力】

社員が長く働くためには、入社後の研修制度はもちろん、スキルアップできるような教育・研修を受けられる機会が設けられているかも着目すべき点です。長期的なスキルアップが見込める企業には、「ホワイト企業」としての要素があるといえるでしょう。



“ホワイト企業” 認定のために

3. “ホワイト企業” 認定のために

一度「ブラック企業」という評判が立つことで大きな不利益が生じるため、その状態になることを未然に防ぐことが大切です。企業側がとるべき対策をご紹介します。

◇従業員との対話の機会の設置

『従業員が抱える悩みや意見を汲み取る仕組みがないこと』が、会社と従業員のミゾを更に広げる事に繋がります。

従業員満足度調査や1on1面談の定期的な設置など、従業員側の発信機会を用意することが有効です。

◇情報の見える化

「透明性」が高くないことが、従業員の不満を招き、心身の不調を助長させます。

「企業方針」「業績状況」など会社全体に関わる情報をはじめとする、残業時間など職場状況に関する情報を見える化し問題を未然に防ぐことや改善の促進に繋がります。

◇第三者からの確認の機会を設ける

自社内に情報が閉じていることが原因で労務管理分野での法令順守の逸脱に繋がることが多いです。その為、定期的に外部講師や社労士、組織人事の知見がある専門家の支援を受けることで、組織としてあるべき状態からの逸脱を防ぐことができます。

3. “ホワイト企業” 認定のために



ホワイト企業の要素は大きく3つあるとされています。

1. 【長期的に健全な経営を続けられる優れたビジネス】

日本は人口減少が進行しています。

少ない労働力で成り立たせるための「ビジネスモデル」と「生産性の向上」を今から確立しておく必要があります。

2. 【従業員が安心して働き続けられる優れた社内統治】

従業員の労働環境を守るため、社内統治が健全でなければなりません。不正や不祥事の発覚により、企業価値や信頼が失墜する事態を未然に防ぐために欠かせない取り組みであると言えます。

3. 【時代ニーズに合わせた従業員エンゲージメントの高さ】

労働人口減少に伴い、新たな人材確保に苦戦する時代です。

働きがい(エンゲージメント)を高く保つ職場を作ることにより、企業利益にも直結し、離職率の低下にも繋がります。



“ホワイト企業”事例の紹介

3. “ホワイト企業” 事例の紹介

誰もが憧れる“ホワイト企業”はどのような企業でしょうか？
実際にホワイト企業として世間に認知されている企業の取り組みなどをご紹介します。

◆安全衛生優良企業 認定

安全衛生優良企業(ホワイトマーク)とは、
労働者の安全や健康に積極的に取り組み、
高い水準を維持している企業を厚生労働省が認定する制度です。



- 超売り手市場化によって企業は選ばれる側になった
- 現代の求職者は健康で働きやすい職場であることを重視する
- 企業は確固たる根拠をもってホワイト企業であることを証明しなければならない

こういった理由から認定を受けることに大きな意義が生じています。

[厚生労働省 委託事業者](#)
[一般社団法人 安全衛生優良企業マーク推進機構「ホワイトマーク企業一覧」より](#)

◆ホワイト企業認定

7つの指標ごとに設けられた評価項目に対し、一定基準を満たしていることが認定を受ける条件です。

WEB審査では70の設問があり、高い水準が求められるため、日頃からの労働環境の整備が不可欠と言えます。

認定にはランク付けもあり、「PLATINUM」「GOLD」「SILVER」「BRONZE」「REGULAR」の5つに分けられます。

●安全衛生優良企業認定（ホワイトマーク）との違い

ホワイトマークの取得における基準では労働安全を中心とした評価が多くなります。

一方ホワイト企業認定では、ビジネスモデルや法令遵守なども評価にあるのが大きく違う点です。



一般財団法人 日本次世代企業普及機構「ホワイト企業認定について」より

3. “ホワイト企業” 事例の紹介

働き方改革やコロナ禍によるライフスタイルの見直しにより、ホワイト企業の事例は世間に大きく注目されるようになりました。

ここからはホワイト企業の取り組み事例をご紹介します。

◆グーグル合同会社

誰もが知る有名大企業。

検索エンジンを運営するだけでなく、ありとあらゆる事業を展開し、私たちの日常生活に解けこんでいる。

「世界中の情報を整理し、世界中の人がアクセスできて使えるようにすること」を使命としている。

取り組み事例

- ・ 創業者たちがライブ上で直接社員とフラットな交流
- ・ 全社員のスケジュールが社内で公開されている
- ・ 失敗をどんどんしなさい、というカルチャー
- ・ 長時間労働は、そもそも社内で尊敬されない企業文化

2023年卒版 新卒で入りたい一流ホワイト企業ランキングTOP100

順位(23)	企業名	業界	業種
1	グーグル合同会社	IT	WEBサービス
2	Facebook Japan株式会社	IT	WEBサービス
3	アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社	IT	WEBサービス
4	エミレーツ航空会社	サービス	航空
5	三菱商事株式会社	商社	総合商社
6	伊藤忠商事株式会社	商社	総合商社
7	オートデスク株式会社	IT	ソフトウェア
8	三井物産株式会社	商社	総合商社
9	ヴェイムウェア株式会社	IT	WEBサービス
10	株式会社リクルートマネジメントソリューションズ	サービス	人材サービス
11	サントリーホールディングス株式会社	メーカー	食品・飲料

[Avalon Consulting株式会社「ホワイト企業総合研究所」](#)より

◆アマゾンウェブサービスジャパン合同会社

Amazonが総合オンラインストアの展開で長年培ってきたクラウドコンピューティング技術から生まれたアマゾン ウェブ サービス (AWS)。サーバやストレージ、DB等、システムインフラの大幅なコスト削減や柔軟な増減を可能とし、世界中に革新をもたらしました。日本においては2009年からアマゾン データ サービス ジャパンとしてサービスを開始。



取り組み事例

- ・「あらゆる人が輝ける職場環境づくり」実現に向けた取り組み。次世代の多様性の確保を目指している。
- ・「ワークライフハーモニー」の提唱。
どちらもうまく調和させて、自身で成果を出せる働き方や環境を作り出すことを推奨するもの。
- ・社員同士の交流を増やす施策。
マネージャーがメンバー間の交流を深めるバーチャルイベントを企画したり、シニアマネジメントからのニュースレターを定期的に配信したりするなど。

こうした取り組みや方針が世間に認められ、「入りたい！」と思わせるのでしょうか。こうした大規模な会社は、自社開発のビジネスツールを存分に活用できるのも大きな強みです。社内のリソースを活かした独自の工夫は社内外への大きなアピールポイントになります。

“ホワイト企業” 認定への道 まとめ

4. “ホワイト企業” 認定への道 まとめ

“ホワイト企業”であることが世間に認知されると多くのメリットを享受できます。

透明性をもち、社会貢献度の高い事業を継続的に運営していくことで信頼や知名度を獲得していく必要があります。

公的に認められるマークやランキングにリンクインすることができれば、優秀人材の流入も見込めるでしょう。

ホワイト企業が存在することで追随する企業をはじめ、業界や社会全体が水準を引き上げるようになります。

他社の手本ともなりうるような、誰もが憧れる優良企業を目指しましょう。



会社組織の抜本的な改善をしたい、、、人材定着のための施策はすでに取り入れた、、、

変えなきゃいけない部分が多すぎてどこから着手したらいいか、、、

、、、そんなお悩みありませんか？ **お任せください！！！！**



私たちにお任せいただければ【人事担当者の負担減 & 精度の高いスカウト採用】

専任のプロが代行いたします！

スカウトサービスのご紹介

5. スカウトサービスのご紹介

私たちミライズアップは、HR領域で貴社をサポートできるサービスを展開しています。



私たちにお任せください！

採用実績100%のサービスで、
人事の採用負担を8割削減し、
欲しい人材の効率的な採用を
実現します。

Mirise up株式会社
代表取締役社長 上田 啓太



 **PRO HUNTING**
プロハンティング

プロがスカウトした最適な人材をご紹介します
「ダイレクトリクルーティングサービス」です。

Monthly 人事

人事業務のリソースや知識がないなどのお悩み
に対して、解決をお手伝いするサービスです。



ダイレクトリクルーティングサービス【プロハンティング】は、
採用のプロが課題を抱える企業様のお悩みを解消する新サービスです！

ダイレクトリクルーティングサービスは採用手法のトレンドです！

採用コスト
50%削減

人事の採用負担
80%削減

採用のプロが
採用業務を伴走



★たった2分でわかる！★
サービス紹介動画はこちら↓

人材スカウトもお任せの時代へ！

外部<Youtube>にリンクします。

※上記サービス紹介動画のように採用に関する動画を制作するサービスもございます！



【まるっと制作】

検索



お問い合わせ

6. お問い合わせ

弊社のダイレトリクルーティングサービスにご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にお問い合わせください。より詳しいサービスの内容や導入事例、利用開始までの進め方など、貴社の採用に最適なお提案をいたします。

お電話の方はこちら



03-5776-2684

(対応時間 平日10:00~19:00)

メールの方はこちら



prohunting@mirise-up.co.jp

■サービスのご紹介

人材スカウトもお任せの時代へ

ダイレトリクルーティングサービス【プロハンティング】

■採用関連サービス

採用に繋がるコンテンツをまるっと制作！

自社コンテンツ制作なら！【まるっと制作】

■事業会社

